

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

◎学習活動の充実

(公) **公民館耐震補強対策事業 (教育委員会事務局 社会教育課)** (新規)

19,314千円

1 事業目的

耐震改修促進法に基づく特定建築物及び旧耐震基準に基づく災害拠点施設、避難所については順次耐震化を行う中で、耐震化されていない公民館について、平成27年度までに順次耐震化を行う。

また、耐震化されていない公民館の中で、大規模改修の必要な公民館については、併せて大規模改修を行う。

2 事業年度

平成25～26年度

平成25年度に設計を行い、平成26年度に工事を行う予定。

3 25年度の事業概要

(1) 設計委託料 19,314千円

- ・耐震化診断、耐震補強設計委託
口屋跡記念公民館、多喜浜公民館、大生院公民館体育館
- ・大規模改造設計委託
口屋跡記念公民館、多喜浜公民館

4 財源内訳

- (1) 国 1/3 2,543千円 (社会資本整備総合交付金)
 (2) 市債 100% 1,800千円 (緊急防災・減災事業債)
 (3) 一財 14,971千円

(単) **公民館施設環境整備事業 (教育委員会事務局 社会教育課)** (拡充)

55,813千円 (44,282千円)

1 事業目的

住民の地域づくりの拠点としてより安全快適な施設環境を作り、市民サービスの向上を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業概要

- (1) 施設修繕料 2,800千円 公民館老朽・危険箇所修繕
 (2) 工事費 43,684千円
 神郷公民館屋上防水改修工事、大生院公民館体育館屋根防水改修工事、
 惣開・若宮・大生院公民館外壁塗装改修工事、船木公民館トイレ男女別改修工事
 (3) 委託料 4,379千円 高木剪定・樹木消毒、焼却炉撤去
 (4) 備品購入費 4,950千円 エアコン更新外

4 財源内訳

- (1) その他 40,035千円 (公共施設整備基金)
 (2) 一財 15,778千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(単) 図書館整備事業 (教育委員会事務局 図書館)

150,480千円 (1,155千円)

1 事業目的

平成4年に別子銅山記念図書館が開館して以来20年が経過し、設備の老朽化が進んでおり、空調設備の更新や屋外の防水工事が必要な状況となっている。今回、図書館の空調設備更新工事及び図書館北棟屋上防水工事を実施し、図書館利用者が快適かつ安全に利用できるようにしていく。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

- | | |
|--|-----------|
| (1) 別子銅山記念図書館空調設備更新工事 | 146,850千円 |
| (閲覧室、多目的ホール、書庫、レファレンスコーナー、会議室、事務室等 空調設備更新) | |
| (2) 別子銅山記念図書館北棟(西側・東側)屋上防水工事 | 3,630千円 |

4 財源内訳

- | | |
|---------|---------------------|
| (1) その他 | 50,480千円 (公共施設整備基金) |
| (2) 一財 | 100,000千円 |

◎地域づくりの推進

(公) **大島交流センター整備事業 (教育委員会事務局 社会教育課)** (新規)

115,502千円

1 事業目的

現在休校中である大島小学校を廃校とし、その校舎の活用を図るため、大島小学校校舎を(仮称)大島地域交流センターとして整備する。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

- (1) 設計等委託料 10,495千円
 - ・耐震診断、補強設計、改修設計委託料
- (2) 工事費 100,432千円
 - ・耐震補強工事、旧校舎改造工事、進入路改良工事等
- (3) 備品購入費 1,000千円
 - ・交流センター備品一式
- (4) 負担金補助及び交付金 3,575千円
 - ・庁内LAN整備負担金

4 財源内訳

- (1) 国 1/3 4,438千円 (社会資本整備総合交付金)
- (2) 市債 100% 9,200千円 (緊急防災・減災事業債)
- (3) 一財 101,864千円

(施) **地域コミュニティ再生支援事業費 (教育委員会事務局 社会教育課)** (新規)

5,000千円

1 事業目的

地域社会における様々な現代的課題に対し、公民館等が課題解決のための取組を、行政の関係部局の垣根を超え、関係諸機関等と連携・協働して実施し、地域コミュニティの再生支援に取り組む。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

文部科学省の新規補助事業である「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」を活用し、公民館等が地域社会における様々な課題に対し、行政の関係部局と協力して課題解決に取り組むことで地域コミュニティの再生を支援する。

- (1) 委託料 @1,000千円×5校区

4 財源内訳

- (1) 国 10/10 5,000千円

◎学校教育の充実

(単・公) **小・中学校施設環境整備事業 (教育委員会事務局 学校教育課)** (拡充)

150,954千円 (128,986千円)

1 事業目的

小・中学校の施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、児童・生徒が安全で快適な教育を受けることができる環境をつくる。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

(1) 工事費 91,922千円

- ①垣生小・浮島小体育館屋根塗装工事
- ②浮島小体育館外壁改修工事
- ③高津小プールフロア改修工事
- ④大生院中体育館屋根塗装工事
- ⑤北中運動場排水整備工事
- ⑥特別教室扇風機設置工事
- ⑦トイレ洋式化整備事業

(2) 施設修繕料 28,450千円

・老朽化による学校施設・設備等の修繕

(3) 委託料 25,312千円

- ①屋内運動場屋根点検及び清掃
- ②高木剪定・樹木消毒
- ③体育館非構造部材点検
- ④宮西小運動場排水工事設計
- ⑤惣開小・大生院小焼却炉撤去

(4) 備品購入費等 5,270千円

・船木小電話機更新、真砂土購入、消火器購入、排水路浚渫、外

4 財源内訳

(1) 国 1/3 17,685千円

(2) 市債 75% 25,300千円

(3) 一財 107,969千円

(公) **小学校大規模改造事業 (教育委員会事務局 学校教育課)**

186,916千円

1 事業目的

学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であるとともに、地域コミュニティの中心であり、非常時には防災拠点の役割を果たす施設であるため、安全かつ安心な施設環境を確保することが必要である。また、児童生徒を取り巻く社会環境の変化に伴い、時代に即した機能的な施設環境を確保するためにも、学校施設の大規模改修を実施する。

2 事業年度

平成25年度

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

3 25年度の事業内容

- ・金栄小学校プール改築工事設計 4, 800千円
- ・泉川小学校南棟大規模改造工事設計 7, 457千円
- ・金栄小学校プール改築工事 174, 659千円

4 財源内訳

- (1) 国 1/3 60,417千円
- (2) 市債 90% 113,700千円
- (3) 一財 12,799千円

(施) 学校図書支援推進費 (教育委員会事務局 図書館) (拡充)

12, 452千円 (8,285千円)

1 事業目的

市立図書館では、平成20年度から学校図書館支援員4名を学校へ派遣し、学校図書館機能である「学習情報センター」、「読書センター」の充実を図っている。

支援員がいることにより、調べ物や読書が活発に行われ、子どもたちの思考力・読解力・表現力などが育ち学習意欲が向上し、確かな学力を育み「生きる力」を形成することができる。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

学校図書館を子どもたちが自主的に利用できるよう継続的な環境整備、読書指導、計画的な学校図書館活用指導など、教職員と連携しながら授業や調べ学習を支援するため、学校図書館支援員を4名から6名に増員し、小学校図書館に派遣する。

- (1) 学校図書館支援員6名の人件費 12, 034千円
(報酬: 10, 404千円 共済費 1, 630千円)
- (2) 学校図書館支援員旅費 382千円
- (3) 消耗品費 36千円

(施) 標準学力検査実施費 (教育委員会 学校教育課) (新規)

8, 537千円

1 事業目的

市内共通した標準学力調査を実施し、児童生徒の学力について、信頼度の高い客観的な基礎資料を得ることにより、児童生徒個々の特長や改善点を把握するとともに、「Q-U」調査の結果と連動させ、学力向上に向けた委員会等において分析・考察を行い、学力向上のための推進方策等について提言を受ける。この結果を活用し、児童生徒への個別の支援の充実を図り、教師の指導方法の改善等を含め、全市的な確かな学力の定着と向上を目指す。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

小学4年生～中学3年生全員を対象に標準学力調査を実施し、結果の解析を行う。

- ・実施科目 小学4～6年生 (国・算)
- 中学1年生 (国・数・理・社)
- 中学2・3年生 (国・数・理・社・英)

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) いじめ・不登校問題等対策費 (教育委員会事務局 学校教育課) (拡充)

15,438千円 (11,032千円)

1 事業目的

近年、子どもたちを取り巻く社会環境が著しく変化する中で、学校や社会に適応できない子どもが増加しつつある。いじめ・不登校の未然防止や早期発見・早期対応、不登校児童生徒への学習指導や相談活動、学校復帰等社会的自立に向けた効果的な支援について、適応指導教室「あすなる教室」を拠点として、学校、家庭、地域、関係機関等が連携し、いじめ・不登校問題等の解消を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

愛媛県いじめ・不登校等対策総合推進事業(県委託事業)の活用も含め、引き続き当該事業を実施する。なお、平成25年度から、小学4年生～中学3年生の児童生徒を対象に「楽しい学校生活を送るためのアンケート調査(Q-U)」を実施(1・2学期に各1回)し、学級満足度尺度と学校生活意欲尺度の観点から、診断結果を分析・検証するとともに、児童生徒の不登校等の未然防止やいじめの早期発見、学校(教諭等)における学級経営・授業改善に向けた取組を行う。

4 25年度の事業内容

(1) 適応指導教室相談員(4人)報酬等	9,390千円
(2) 訪問相談員、カウンセリング等謝金	708千円
(3) 連絡協議会、研修会等出席旅費	96千円
(4) 教材、文具、学習図書等購入費	125千円
(5) いじめ調査報告書(冊子)印刷製本費	101千円
(6) いじめ110番通話料、賠償責任保険料等	221千円
(7) 楽しい学校生活を送るためのアンケート調査(Q-U)実施委託料	4,374千円
(8) 体験活動等バス借上げ、施設使用料、IT学習支援ソフト使用料等	418千円
(9) 全国適応指導教室連絡協議会費(負担金)	5千円

5 財源内訳

(1) 県	590千円
(2) 一財	14,848千円

◎特別支援教育の充実

(施) 発達支援教育充実費 (教育委員会事務局 発達支援課)

20,843千円 (19,633千円)

1 事業目的

巡回相談による早期発見、その後の療育専門家による発達検査、個別療育指導、早期療育通園事業、理学療法士や心理相談員による就学相談の強化を図り、障がいや発達課題のある子どもたちが、家庭や地域の人たちと一緒に、より豊かに、自尊心をもって、自立した生活ができることを目指し、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校と連携を強化しながら、幼児期、学齢期における早期発見、早期療育支援体制の整備充実と研修等による地域理解の促進と人材育成を進める。

2 事業年度

平成21年度～

3 事業概要

- (1) 発達支援教育研修事業 866千円
職員研修、保育士や幼稚園教諭、教職員を対象にスキルアップ・特別支援教育研修講座等の実施
- (2) 発達支援相談事業 2,762千円
巡回相談、発達検査、就学相談等
- (3) 地域療育推進事業 16,004千円
早期療育通園事業(育ちの教室、ことばの教室外)、ソーシャルスキル支援事業
- (4) 学級担任マンパワー強化事業 1,211千円
発達障がいの理解と支援方法について、講義の他に実習・実践を通して知識、技術を身につけ、学級担任のマンパワーの強化と専門性の確保、人材育成を図る。

4 25年度の事業内容

- (1) 報酬等 14,134千円
早期療育指導員報酬(6人)等
- (2) 報償費 2,826千円
相談事業(巡回相談、発達検査、就学相談)謝金等
- (3) 旅費等 1,200千円
研修会講師旅費、発達障害早期総合支援研修旅費等
- (4) 委託料 1,731千円
早期療育指導委託料、発達障がい実技講習会(トレーニングセミナー)委託料
- (5) 消耗品・保険料等 952千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) 小学校特別支援教育充実費 (教育委員会事務局 発達支援課) (拡充)

87,868千円 (62,440千円)

1 事業目的

障がいや発達課題のある児童が在籍する小学校において、生活や学習上の困難を有する児童に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、児童や教員(担任)を支援することにより、特別な教育的支援を必要としている児童の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図る。

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童に、その通学費の一部を補助することで、特別支援教育を推進するとともに保護者の負担軽減を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

- (1) 学校特別支援教育支援員報酬等 87,498千円
- ・浮島小肢体不自由特別支援学級指導員 5人(月額非常勤)
重度肢体不自由児の日常生活介助、学級運営補助
 - ・学校生活介助員 56人(時給非常勤)
肢体不自由、特別支援学級在籍児童の介助、学習支援
(新居浜2、宮西2、高津4、浮島8、惣開4、垣生4、神郷4、多喜浜2、
泉川2、船木8、中萩6、大生院4、角野6 予定)
 - ・学校支援員 14人(月額非常勤) 新たに5人増員
発達障がい児等の学習支援、生活介助による学習環境の改善、学力向上、学級運営の円滑化
川西ブロック(支援員4人、対象児60人)
川東ブロック(支援員4人、対象児61人)
上部ブロック(支援員6人、対象児83人)
- (2) 修学旅行、校外活動引率支援員旅費等 106千円
- (3) 自閉症・情緒障がい児学級通学補助金 264千円
(経済情勢等により補助金額を1キロ10円に改定)

◎芸術文化の振興

(単) **市民文化センター耐震補強対策事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) (新規)** 145,950千円

1 事業目的

平成24年度に実施した耐震診断の結果を受けて、補強工事を実施する。

平成25年度は市民文化センター別館の補強工事を実施し、翌年に大ホール関連施設の補強工事を実施予定。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業概要

市民文化センター別館耐震化工事 145,950千円

・工事期間 7月～2月

・工事内容 RC壁増厚、柱増強工事及びそれに伴う付帯工事

4 財源内訳

(1) 市債 90% 131,300千円 (防災対策事業債)

(2) 一財 14,650千円

(施) **総合文化施設建設推進費 (企画部 総合文化施設準備室)** 90,652千円 (2,848千円)

1 事業目的

総合文化施設の建設と並行して、事業計画や今後の館の運営計画を検討していくのにあたり、平成22年度に依頼したアドバイザーの招聘を行うとともに、美術品の収集計画等を策定するため、収集・評価委員会を開催する。

また3月に落札予定の建設工事については、高度かつ複雑な施工を伴うため、施工監理を委託し、円滑な工事実施を図る。

2 事業年度

平成23年度～

3 25年度の事業の内容

(1) アドバイザーの招聘、収集・評価委員会の開催 2,652千円

総合アドバイザー：鴻上尚史、スーパーアドバイザー：高見知佳、松久勝利、

テクニカルアドバイザー：市橋宏、曾我部清典、吉田広ほか 計12名

収集・評価委員会 (委員5名、3回程度開催)

(2) 施工監理業務 88,000千円

4 財源内訳

(1) 市債 95% 83,600千円 (合併特例債) [交付税算入率70%]

(2) 一財 7,052千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(公) **総合文化施設建設事業（企画部 総合文化施設準備室）**（新市建設計画）

3,564,000千円 (2,699,131千円)

1 事業目的

新居浜駅周辺地区整備計画において、核施設となる総合文化施設を建設する。

2 事業年度

平成22年度～

3 事業の概要

合併特例債の発行期限である平成25年度末までの施設の完成を目指し、平成24年度、25年度の2か年で施設建設を行う。

4 25年度の事業内容

美術館・小劇場・太鼓台ミュージアム・産業遺産インフォメーションの機能を有する複合施設「新居浜市総合文化施設」を新居浜駅前地区のにぎわいづくりの核施設として建設する。

継続費総額 4,539,000千円

24年度 989,000千円

25年度 3,550,000千円

【25年度予算内訳】

工事費 3,420,000千円

展示製作委託 130,000千円

事務費 14,000千円

5 財源内訳

(1) 国 40% 712,840千円（社会資本整備総合交付金）

(2) 市債 95% 1,888,800千円（合併特例債）[交付税算入率70%]

(3) その他（繰入金） 857,769千円（文化振興基金繰入金）

(4) 一財 104,591千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) 笑顔輝くプロジェクト推進費 (企画部 総合政策課)

4,642千円 (4,307千円)

1 事業目的

次代を担う全国の高校生に、笑いを引き出す経験を通して、世代を超えたコミュニケーション能力や豊かな人間関係を築く力を身につけてもらうとともに、地域に人を結ぶ「笑い」と「元気」を生み出し、新居浜市が目指す「笑顔輝くまちづくり」の推進と全国に向けた本市都市像の発信を目的とし、第3回高校生笑い日本一決定戦『笑顔甲子園“絆” in 新居浜』を開催する。

また、「笑い」の普及と地元出場者の育成を図るため、「笑い」に関する歴史や効用、日常生活での活用など、「笑い」文化の啓発を図るとともにプロや同世代(笑顔甲子園受賞者等)の「笑い」の表現に触れる機会を提供する。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

(1) 全国の高校生を対象としたお笑いパフォーマンスコンテスト(漫才、コント、落語など)を開催する。

DVDによる予備審査を経て、上位10グループ程度による本選を実施する。

(2) 市内学校向けに「笑いとコミュニケーション」講座(仮称)を開催する。

4 25年度の事業内容

(1) 第3回「笑顔甲子園」開催

本選 <世代別バトル>

開催日 平成25年8月24日(土)

場所 銅夢にいほま

<決勝バトル>

開催日 平成25年8月25日(日)

場所 新居浜市市民文化センター大ホール

表彰 グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞に賞状とトロフィー等、また本選出場者に参加賞

(2) 市内学校向け講座

- ・学校行事や総合学習の時間などを活用して開催。
- ・平成25年度に3～5校程度開催予定
- ・講話や演目披露等による構成

5 財源内訳

(1) その他(諸収入) 1,000千円(市町振興協会助成金)

(2) 一財 3,642千円

◎スポーツの振興と競技力の向上

(公) **夜間照明施設整備事業（教育委員会事務局 社会教育課）**

26,250円

1 事業目的

学校開放運動場照明設備の計画的な更新（建替え）を行うことにより、市民のスポーツ活動を促進し、健康増進に資する。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

学校開放運動場照明設備は設置後、年数が経過し設備等の劣化が激しいため、計画的な更新を図る。

4 25年度の事業内容

- (1) 学校開放運動場照明設備更新工事 26,250千円
・垣生小学校、角野中学校

5 財源内訳

- (1) 国 1/3 8,750千円
(2) 市債 75% 13,100千円
(3) 一財 4,400千円

(施) **運動部活動競技力向上事業費（教育委員会 スポーツ文化課）（拡充）**

3,000千円

1 事業目的

中学校及び高校の運動部活動の競技力を向上させるため、著名な指導者等を招聘し、指導を請う。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

- (1) 中学生運動部活動競技力向上 1,000千円
今年度はバスケットボール競技のレベルアップを図る。
報償費 730千円（講師謝金）
旅費 263千円（講師招聘旅費）
需用費 7千円（講師用飲料代）
- (2) 高校生運動部活動競技力向上（新規） 2,000千円
今年度はバスケットボール、バドミントン、駅伝競技のレベルアップを図る。
報償費 1,176千円（講師謝金）
旅費 802千円（講師招聘旅費）
需用費 22千円（消耗品費）

4 財源内訳

- (1) その他 1,000千円（こども夢未来基金）
(2) 一財 2,000千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) 学校スポーツ活性化事業費 (教育委員会 スポーツ文化課) (新規)

3,000千円

1 事業目的

市内にある高等学校及び高等専門学校の運動部の活性化を図るため、強化指定校に補助金を支出する。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

市内の高等学校及び高等専門学校から運動部の強化事業計画から各校あたり1種目の運動部に対し、1校上限額500千円の補助金を支出する。

@500千円×6校=3,000千円

(単) 国体施設整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) (新規)

29,451千円

1 事業目的

平成29年度に開催される愛媛国体において新居浜市で実施される競技会場の施設整備を行う。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業概要

(1) 工事費 26,451千円

市営野球場観覧席改修工事

(2) 委託料 3,000千円

市営野球場観覧席改修工事測量設計委託料

(単) 国体関連施設整備事業 (ヨット競技) (企画部 港湾管理課) (新規)

9,306千円

1 事業目的

平成29年度に予定されている愛媛国体ヨット競技を開催するため、それに必要な施設をマリンパーク新居浜に整備する。また、運営に関して必要となる施設についても仮設等に対応する。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

(1) 場所 垣生3丁目 マリンパーク新居浜内

(2) 全体計画 艇庫建設、斜路(改良、仮設)設置工、艇置場整備工
駐車場整備工、浮棧橋改修工

(3) 事業費 191,476千円

(4) 工事期間 平成25年度～29年度

4 25年度事業内容

斜路改良工

国体施設レイアウト設計業務

5 財源内訳

(1) 県 4,804千円

(2) 一財 4,502千円

◎近代化産業遺産の保存・活用の充実

(施) **近代化産業遺産まちづくり推進費 (企画部 別子銅山文化遺産課)**

11,036千円 (5,694千円)

1 事業目的

今も市内に数多く残る別子銅山近代化産業遺産をまちづくりに活かすことを目的に、それら貴重な産業遺産の価値を多くの人に認識してもらうため情報発信を行うとともに近代化産業遺産の保存活用を図る。

2 事業年度

平成25年度

3 事業概要

別子銅山産業遺産を後世に継承するとともに、情報発信を行い、近代化産業遺産まちづくりを推進する。

4 25年度の事業内容

◆近代化産業遺産情報発信事業 3,249千円

- (1) あかがねフォトコンテスト開催 1,015千円
- (2) 大阪パネル展 (大阪歴史博物館・県大阪事務所) 300千円
- (3) 山田社宅パネル展備品 566千円
- (4) 登り道から銅山峰を指し示す案内板設置 263千円
- (5) あかがねエッセイ賞作品、別子銅山案内マップ印刷 1,105千円

◆近代化産業遺産保存活用事業 7,787千円

- (1) 産業遺産測量 (東平・端出場) 5,592千円
登録有形文化財の新たな登録に向けた基礎資料を作成する。
- (2) 山田社宅、旧端出場水力発電所管理業務等 2,195千円

(単) **塩の学習館建設事業 (教育委員会 学校教育課) (新規)**

38,900千円

1 事業目的

新居浜市では、義務教育9か年を通して、各学校の教育課程の中で地域資源を活用した体験型学習「ふるさと学習」を実施している。

「ふるさと新居浜」を愛する心 (郷土愛) や誇りが持てる児童生徒の育成と先人の知恵や技術に感謝の念を深め、後世に継承・発展させる教育を推進するため、屋内塩田学習施設「塩の学習館」を多喜浜小学校内に建設し、多喜浜塩田についての学習や塩づくり体験学習を実施する。

2 事業年度

平成25年度

3 25年度の事業内容

- (1) 建設工事設計 2,000千円
- (2) 建設工事 35,000千円
- (3) 備品購入費 1,285千円
- (4) 消耗品購入費 615千円

4 財源内訳

- (1) 県 1,850千円
- (2) 市債 34,200千円 (地域活性化事業債)
- (3) 一財 2,850千円